

## 私の大好きな川で遊んで学ぼう

### 1. 背景

私の故郷は、自然あふれる田舎です。高校生の頃まで、家族や友達と川に遊びにいたり田んぼで虫をとったりと自然の中をかけまわっていた覚えがあります。大学から福岡市内にでてきたわたしは、地元に戻るたび「ああ、田舎っていいなあ。」と感じます。

私が地元で一番好きなのは川です。川で遊んだり、川辺を散歩して川の流れをみたり音を聞いたりしてぼーっとすることが好きです。都会では、川の傍を車が通りゆっくり川を眺めることなんてないですが、田舎だとゆっくり川を感じることが出来ます。

しかし、私の大好きな川が現在、豪雨災害などの影響により、昔のように気軽に遊びにいけるような場所ではなくなりつつあります。故郷の子どもたちに安心して遊べて、川が憩いの場となってほしいと思い提案します。

### 2. 問題点

問題点は、2点あります。

#### ① 川で遊べない

私が小学生の頃よく遊びに行っていた川は豪雨災害などの影響で遊べなくなりました。現在では、川へ降りる道や階段ですらなくなり、子どもたちが安心して遊べる場所がどんどん減ってきています。

#### ② 学生が勉強する場所がない

学校帰りに勉強するための図書館などの施設は1つだけありますが、座席数が10席程しかなく、ほとんどの学生に勉強するスペースはありません。現役高校生である弟は、「席が空いてなかったら帰ってくる～」と言ってその施設に行きますが、2分の1の割合で帰ってきます。

### 3. 提案内容

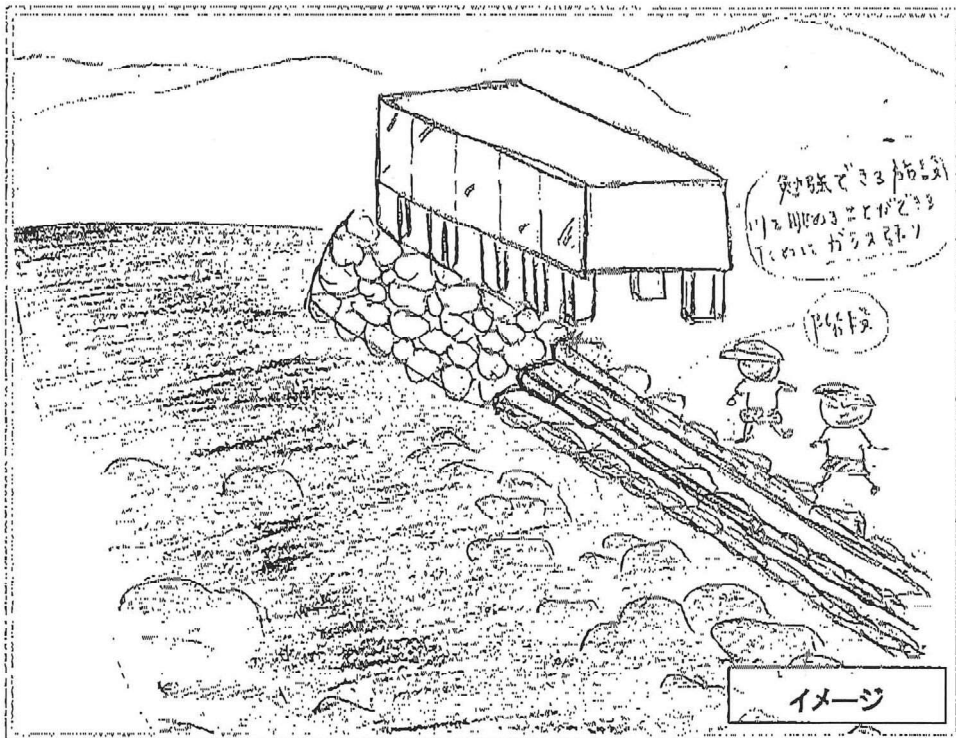
2点の問題点を踏まえ、以下のことを提案します。

#### ○川へ降りる道や階段を作る

現在、川へ降りる道や階段がありません。そこで川にたどり着くまでの道や階段を整備します。

#### ○川の傍に勉強できる施設をつくる

川を感じながら学生が勉強できる施設を作ります。施設を作ることで町の住民たちの1つのコミュニティの場としても活用できます。



### 4. 最後に

私の住んでいた田舎は自然以外何もない場所ですが、私にとっては大切な故郷です。この提案をすることで、地域の人たちに改めて私の大好きな川の良さを感じてほしいです。